



茨木神社社報

発行所

茨木神社社務所

茨木市元町4-3

072(622)2346

[https://www.](https://www.ibarakijinja.or.jp/)[ibarakijinja.or.jp/](https://www.ibarakijinja.or.jp/)

仮本殿と仮拝殿

「大神様のお遷り」

古代、神様をお祀りする建物を「ヤシロ（屋代）」と呼び、祭祀毎に建てられました。時代が進むにつれて呼び名も「ミヤ（宮）」と呼ぶようになりました。それはまた建物も小規模から大規模になったことの現れでもあります。しかしこの大規模化は年毎の、また祭祀毎に祭場を一新することができなくなりました。

新しい御殿を創建し大神様にお遷りいただく神事は、神社にとっては第一の重儀であります。伊勢の神宮において二十一年に一度行われる式年遷宮が特に有名です。大神様がお鎮まりになる御殿を新たにすることによって、大神様の御神威もますます昂（たか）まします。その御神威をいただくこそ、私たちの生命力が強められるという、日本人の信仰心の現れでもあるのです。

一方日本人は、物も心も有限であるという考え方を基底にもっています。有限であるがゆえに、たえず新しいものに更新し続け、確実に後世に伝えていくという努力と作業を繰り返してきました。つまり生命の継承といえます。当社におきましても、江戸時代の初め元和八年（一六二二年）に創建された現在の御本殿が、令和四年に創建四百年の佳節を迎えます。それを記念して現在「令和の大造営」工事が遂行されています。そのような中、大神様が現在の本殿から仮殿にお遷し申し上げる「仮殿遷座祭」が浄間の中、斎行されました。この「仮殿遷座祭」は、祖先から伝わった大神様への崇敬の真心を子孫に受け継いでいくための、大切な神事の一つなのです。大神様はこれから令和四年秋の正遷座祭までの約二年半の間、この仮殿にお鎮まりになられます。

●令和の大造営始まる

御本殿創建四百年目となる令和四年の佳節に向けて、平成二十九年三月に御本殿創建四百年記念事業委員会を組織し「令和の大造営」を進めて参りました。いよいよ建設詳細も整い、令和元年八月十七日、四百年記念事業委員会堀茂夫委員長をはじめとする事業委員会の皆様のご参列のもと、御本殿創建四百年事業開始奉告祭を斎行し、令和の大造営の開始を大神様に奉告いたしました。



完 成 予 想 図

●造営へ向けての環境整備

まず本殿造替工事の間、大神様がお鎮まりになる仮の本殿並びに参拝者のための仮拝殿の建設、そしてその建設のために、手水舎の仮移設や樹木の移植、大小の灯

籠等石造物の仮撤去など、順次仮本殿・仮拝殿建設のための環境整備を進めてきました。



東門前仮手水舎

●仮殿地鎮祭

二月七日晴天の下、四百年記念事業委員会堀茂夫委員長をはじめとする事業委員の方々、仮殿施工業者のご代表、新本殿設計の藤本様、そして神社関係団体の代表の方々とご参列のもと、仮殿地鎮祭を斎行いたしました。当日古式に則り、仮殿建設用地の四方及び中央に五色の御幣と盛砂を設け、午前十一時から、まず本殿に於いて奉告祭を斎行しました。

続いて、仮殿建設用地に場所を移し、四方清祓の後、堀委員長と宮司による穿初（うがちぞめ）の儀、斎主による鎮物埋納の儀、

施工会社の各代表による鉤入（くわいれ）の儀と続き、関係者の見守る中肅々と神事は斎行されました。



仮 殿 地 鎮 祭

●仮殿の建設

地鎮祭斎行の後、五月末の完成に向け、仮本殿・仮拝殿の建設が始まりました。この仮本殿は、平成二十七年に斎行された京都市左京区の賀茂御祖神社（下鴨神社）第三十四回式年遷宮で用いられた仮殿を下賜されたものです。

五月三十日清祓を斎行し、その後諸神具・諸祭具を弁備し、いよいよ大神様を仮本殿にお遷し申し上げる仮遷座祭の準備が整えられました。

●仮殿遷座祭

現在の本殿から仮殿へ大神様をお遷し申し上げる「仮殿遷座祭」が六月十一日深夜の中、斎行されました。まず現在の本殿において、新たな仮殿へお遷し申し上げる旨大神様に祝詞を奏上する本殿祭を斎行、その後笏拍子の合図により境内の照明が一斉に消灯し、雅楽の荘厳な音色と神職・奉仕者による「おー」という警蹕（けいひつ）の音が響く中、大神様が出御され、遷御の儀が始まりました。

秉燭（ひょうしよく）という明かりで足下を照らしながら、大神様を輿に奉安し、その周りを純白の絹垣に囲まれて仮殿へと進みます。また本殿から仮殿へと進まれる大神様の真下には布単（ふたん）という白い布が敷かれます。



仮 殿 遷 座 祭



仮殿遷座祭

厳かなる御列が本殿から石段をくだり、仮拝殿正面から仮本殿に入御されました。その後、本殿造替工事の間仮殿にお鎮まりいただく旨大神様に奏上、参列者が玉串を奉奠して、約一時間半の遷座祭が終了しました。

今年八月より、明治十三年に建設されました幣殿と拝殿の解体工事、および元和八年に創建された本殿の修理に取りかかります。造営工事の間、ご参拝・ご祈禱等は仮殿にて通常通り行うことができます。ご参拝の皆様には何かとご不便をお掛けいたしますが、ご理解・ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。



●人形奉焼祭齋行

四月八日、恒例の人形奉焼祭が齋行されました。氏子崇敬者より持ち寄せられた多くの人形を祈禱の上奉焼いたしました。

●ご奉賛への御礼

令和元年十月より、氏子・崇敬者の皆様に御本殿創建四百年記念事業「令和の大造営」へのご奉賛をお願い申し上げたところ、数多くの方々から御篤志を賜りました。ここに厚く御礼申し上げます。今後とも、事業完遂のため格別のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

●祈年祭齋行

四月十八日午後二時より、祈年祭を齋行し、国の隆昌並びに氏子崇敬者の皆様のご健康・ご多幸を御祈願いたしました。

例年でありましたら、奉賛会会員の皆様ご参列のもと本神事を齋行いたしておりますが、今年は新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、総代のみの参列とさせていただきます。

また祈年祭に合わせて、新型コロナウイルス感染症流行鎮静祈願も齋行させていただきました。



●「大祓・輪くぐり神事」並びに「夏祭」の変更

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、残念ながら以下のように祭事を変更させていただきます。

◇六月三十日例年午後二時から齋行しております「大祓・輪くぐり神事」並びに「人形祓神事」は中止させていただきます。早朝に神職のみで齋行いたします。「茅の輪」はその後終日仮殿前に設置いたします。どうぞご自由にご参拝下さい。

◇七月十三・十四日「夏祭」、仮殿にて神事のみを齋行し、例年の神輿・太鼓の氏子地域への巡幸・巡行は中止させていただきます。

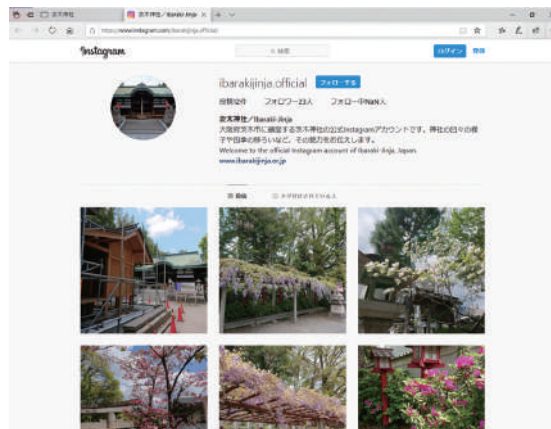
新型コロナウイルス感染症に対応すべく大阪府に出されていた「緊急事態宣言」が先般解除されましたが、まだまだ気を緩められません。当神社でもこれまでの通り消毒液の設置並びに失礼かとも思いますがマスク着用等にて対応して参ります。



茨木神社公式ホームページ全面リニューアル ・公式Instagram開設



公式ホームページ



公式Instagram

平成17年4月に開設いたしました茨木神社公式ホームページですが、令和2年5月に全面リニューアルし、さらにスマートフォンにも対応いたしました。茨木神社の由緒や歴史、そして現在の様子をお伝えするのはもちろんのこと、氏子地域の歴史や伝承なども積極的に発信して参りたいと思っています。まずトップページには氏子・崇敬者の皆様へのお知らせを掲載し、迅速な情報の伝達を図ります。さらに「よくあるご質問」のページも設置し、皆様の知りたい情報を的確にお伝えしていきます。

またホームページ全面リニューアルに先立ち、令和2年3月には茨木神社公式Instagramも開設いたしました。四季折々の神社の風景をお伝えして参ります。どうぞご覧下さい。

公式ホームページ <https://www.ibarakijinja.or.jp>
(常時 SSL 化のため、URL を一部変更しています。)

公式Instagram <https://www.instagram.com/ibarakijinja.official>



- ◆ 末社琴平神社例祭
九月十日
- ◆ 例大祭（秋祭）
十月十日 午前十時斎行
- ◆ 七五三詣
十一月中随時
祈禱者にお守り
おみやげ授与
- ◆ 末社恵美須神社例祭
十一月二十日
- ◆ 天石門別神社記念祭
十一月二十二日
- ◆ 大祓・除夜祭
十二月三十一日

これからの行事予定